

入社者 interview

株式会社ジェーシービー
国際本部 国際業務部/入社 1 年目
武田 安奈さん
TAKEDA ANNA
出身：フィリピン



日本で働こうと思ったきっかけ(NIKKEI ASIAN RECRUITING FORUMに参加しようと思ったきっかけ)を教えてください。

父親が日本人で、日本で生まれて小学校 2、3 年生ぐらいまで日本で過ごしました。その後は大学を卒業するまでフィリピンで暮らしていましたが、大学で日本を題材にした研究テーマを専攻していたこともあり、日本に対して自ずと親近感が強くなっていました。

ただ、大学を卒業して日本で働きたいと思っても、日本人の学生と同じように就職活動をしては、きっと分が悪いはず。それならばNIKKEI ASIAN RECRUITING FORUMという海外の学生の採用に非常に関心の高い企業が集まる絶好の機会を逃さない手はないと、参加を決意しました。

就職先を決定するまでの経緯を教えてください。

招待を受けた複数の企業から内定を得ることができました。日本企業に就職するという意志は固かったものの、実は業界や業種を絞り込んでいたわけではありません。説明会で企業の今後の事業戦略などを聞くなかで、それぞれの企業の特長や業界の動向を理解することができ、事業構造のしくみが一番面白いと興味を持ったのが JCB だったのです。

最終的に JCB に決めたのは、説明会に参加していた社員の表情が第一印象で生き生きと感じられたこと。そして、日常生活に不可欠なカード決済に今後の可能性を感じたことにあります。

日本企業に就職して、自分自身の成長をどのように感じていますか。

今年 4 月に入社して国際本部 国際業務部に配属になり、1 年目だからこそ、基礎からしっかり学ぶという段階を踏まなくてはならないと痛感する毎日です。入社前研修でも教わった「ほう・れん・そう」の徹底には、報告の仕方やタイミングに試行錯誤しながらも、最近では少しずつですが一つ一つの業務への理解度が深まり、手ごたえも感じられるようになっていきます。

今の自分の新たな課題として、物事を整理してきちんと他人の理解につなげる「説明する力」を身に付ける必要があると実感しています。

日本企業への就職を目指す学生にメッセージをください。



日本のポップカルチャーに憧れて日本で働きたいという人は多いと思いますが、文化が異なる日本で働くことは相応の覚悟が求められると感じます。

企業に入社してから自分がどんなことに携わりたいのか。自分が到達したいゴールがイメージできていないと、面接で聞かれても答えられないと思いますし、入社してからやりがいを見つけるのに苦労すると思うからです。

私の印象になりますが、日本の企業は人間性が社風に合うかどうかをしっかりと見ていると感じます。

その意味でも、面接で精いっぱい自分の個性をアピールできるように、可能な限りの準備をすることをおすすめします。生活環境が変わると、周囲に関わる人も変わります。これまでにない刺激を受けて自分の良い面、足りない面が見えてきますので、新たな一步を踏み出す力が生まれると思います。

会社情報



世界にひとつ。あなたにひとつ。

企業名	株式会社ジェーシービー
業種	クレジット・信販
設立	1961年1月25日
資本金	106億1,610万円 (2017年3月末日現在)
代表者	代表取締役兼執行役員社長 浜川 一郎 (はまかわ いちろう)
本社	東京都港区南青山5-1-22 青山ライズスクエア
H P	http://www.saiyo.jcb.co.jp

人事担当者からのメッセージ

当社のグローバル人材採用の狙いは、いろいろな価値観や感性、つまり多様性が交じり合うことで生まれる、未来のキャッシュレス社会の創造にあります。それはすなわち最先端テクノロジーとの融合により日本におけるキャッシュレス市場を主導していくと同時に、アジアを代表する総合決済サービス企業として、世界のキャッシュレスの未来を創りあげることです。世の中の急激な変化を先取りしていくために、様々な国で育ったからこそその個性を持ち寄って強みに変えていただき、一緒に未来を築いていただきたいと思います。